

京都第一赤十字病院で胃切除を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

4 型胃癌の脾摘の意義の検討 へのご協力をお願い

今回、京都第一赤十字病院は、4 型胃癌の脾摘の意義の検討に関する研究を実施いたします。そのため、過去に当院で 4 型胃癌と診断され胃切除を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

胃癌に対する治療成績は近年の診断技術、手術手技、化学療法の進歩とともに向上してきています。しかしながら、特に 4 型胃癌は病勢進行が早く、いまだ予後不良でさらなる治療成績の向上が望まれます。4 型胃癌の予後改善目的に脾臓摘出術(リンパ節郭清)が以前から行われていますが、予防的郭清、治療的郭清の意義に関しては意見が分かれており未だ一定の見解を得ていません。脾摘の意義の再評価を行い、必要性を見出すことにより、より患者個々に応じた適切な治療を提供できる可能性があり、今後の 4 型胃癌診療の更なる治療成績の向上に寄与しうると考えております。

研究の方法

・対象となる患者様について

1992 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日までの間に、京都第一赤十字病院外科で 4 型胃癌に対し胃切除術を受けられた患者様が対象となります。使用させていただく試料・情報に関しては、性別、年齢、既往歴、血液検査結果、病理診断結果、治療経過内容等になります。

・方法について

診療録から胃全摘群、胃全摘+脾摘出術群の患者様で、臨床病理学的因子や予後について検討します。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、2025 年 12 月 31

日までに下記連絡先までご連絡ください。試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先

京都第一赤十字病院 消化器外科

小西 智規 塩飽 保博(部長) 電話：075-561-1121